

団体名	株式会社地域価値協創システム	
所在地	北海道網走郡美幌町字仲町2丁目1番地	
団体の目的	地域資源から新たな価値を創出するために、多様な主体と協働で取り組み、次世代の地域デザインを描き、実現するための担い手、働き手を育成しつつ、持続可能な地域づくりを目指すことを目的としています。	
活動地域	北海道網走郡美幌町を中心に周辺自治体(北見市、網走市等)	
地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿	<p>“ローカルSDGsを実現した地域社会”</p> <p>「人口規模が小さく、豊かな自然環境に恵まれているオホーツク地域から率先してSDGsを実現するために、様々な地域資源を持ち寄り、地域外部のつながりも活かす仕組みをつくり、多様な人たちが理念を共有しつつ、主体的に行動し、民間主導で地域課題を解決していく地域社会」</p>	
地域の現状・課題	<p>◎地域の現状</p> <p>人口減少、高齢化の進捗に伴い、後継者不在による廃業や、住民サービスや環境保全活動を担ってきた法人、団体の運営に支障がでるケースが増加している。地域の主産業である1次産業では、品質基準に合わず出荷できない生産物も多く発生しており、経済的なロスとなっている。</p> <p>地域を今後維持していくためには、労働力確保、経済に与えるマイナス要素の削減、豊かな自然環境の保全などに、限られた資源を有効に組み合わせ、複合的解決に取り組まねばならなくなっている。</p> <p>◎上記の現状から見えてきた課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多様な人たちが働ける職場づくりによる新たな労働力確保 2. 未利用、捨てられる資源を活かした環境保全ビジネス創出 	
地域が持つ資源	<p>◎人的資源</p> <ol style="list-style-type: none"> ①障がい就労希望者(200人程度) ②就労条件に制約がある子育て世代 <p>◎情報資源</p> <ol style="list-style-type: none"> ①オホーツク地域の観光地イメージ ②1次産業生産物の北海道ブランド 	<p>◎物的資源</p> <ol style="list-style-type: none"> ①黒字なのに後継者不在で廃業する小規模事業者 ②大量の農業残差物 ③小規模林業者生産・未利用木質バイオマス資源 ④工事、環境保全活動に伴い発生するバイオマス資源
取組内容	これまで農福連携事業に着目し、6次化事業を実施してきた。それをさらに進め、各種バイオマス資源を利用した製炭による新たな環境保全ビジネスを創出し、「地域循環共生圏」を実現する基盤づくりを進めるプラットフォームを構築するために、地域の他の団体等と連携して研修会、プラットフォーム構築準備会議等を実施する。	
地域循環共生圏を 実践することで想定 される効果(変化)	<p>(環境) ① 地域主産業の1次産業からの廃棄物有効利用</p> <p>② 環境保全型ビジネス創出</p> <p>(経済) ① 障がい者、就労困難な若者、子育てママ等の就労環境整備</p> <p>② 事業継続可能性の高い廃業事業者の事業承継</p> <p>③ 障がい者就労の飲食業、清掃業等のサービス業への偏り是正</p> <p>(社会) ① 単独で解決困難な課題解決に対応したネットワークづくり</p> <p>② 多様な参加者・団体によるSDGs実現に向けた人材育成</p> <p>③ 短時間勤務やワークシェアにより能力を発揮しやすい働き方の確立</p>	

美幌峠



製炭炉全景



炭仕上がり



野菜を炭化

